

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

「伝えるあいさつ」、会釈の浸透

新しくなった中部地区自治協議会のオレンジ色ののぼりに記載されているように「あいさつで笑顔広がる中部地区」となるよう学校も努力してまいります。「校長だより」第61号で紹介いたしましたが、道徳では「礼儀」との関連で「あいさつ」を教えています。文科省小学校学習指導要領解説「道徳」には、「よい人間関係を築くためには、まず、相手に対して真心がこもった気持ちのよい応対ができなければならない。そのような応対は人としての生き方の基本であり、まずは大人が作法として教えることから始まる。」とあります。

子どもたちにはあいさつの気持ちが伝わるよう頭も下げる（お辞儀をする）よう指導しています。大人同士は真心のこもった会釈を交わすことがありますので、子どもと大人でも真心をこめた会釈を交わすことができると思います。会釈を浸透させ、子どもと大人との間にもあいさつで笑顔が広がるような地域にしていきたいと思います。

学力調査と生活習慣等

新型コロナ対策による臨時休業のため、全国学力・学習状況調査（小学校は6年生が対象）は中止、県学力調査（小学校は5年生が対象）は参考として変更して実施となりました。例年、全国学力・学習状況調査の結果を受けて本校の学力の状況等をお知らせしていましたが、今年度は市学力調査（小学校は4年生が対象）を受けて、その概要をお知らせいたします。国語では全国・市平均を上回りました。算数では、全国平均をやや下回ったものの市平均は上回りました。結果を受けての成果や課題、改善策、学校全体で重点的に取り組む事項をまとめ、今後ホームページに掲載しますので、ご参照ください。

また、昨年度6年生の市全体の傾向ですが、次のような児童は、学力が高い傾向にあります。宿題や家庭学習、家庭での会話の大切さと併せ、ご留意くださいますようお願いいたします。

「朝食を食べている」 「きまり（規則）を守っている」 「読書が好き」
「新聞を読んでいる」 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」

祇園歴史の旅（その71）「11周年の祇園小とその時代」

祇園小学校沿革史によると、平成24年8月運動場石垣補修工事、多目的室空調機設置、11月県学校保健推進優良校受賞、県学校保健会よい歯の学校努力校受賞、12月優れた学校支援会議活動文部科学大臣賞受賞とあります。健康教育に加え、学校支援会議活動の成果も認められた年でした。

また、インターネット記事によると、当時の主な出来事は次のとおりです。平成24年5月22日東京スカイツリーオープン、7月27日ロンドン五輪開幕、8月29日同パラリンピック開幕、10月1日日本郵政発足、10月8日山中伸弥氏ノーベル医学・生理学受賞、12月16日衆院選自民党勝権奪還、12月26日第2次安倍内閣発足。

今回は、「12周年の祇園小とその時代」と題して、12周年の祇園小学校の出来事や平成25年4月～26年3月までの日本内外の主な出来事をご紹介します…。